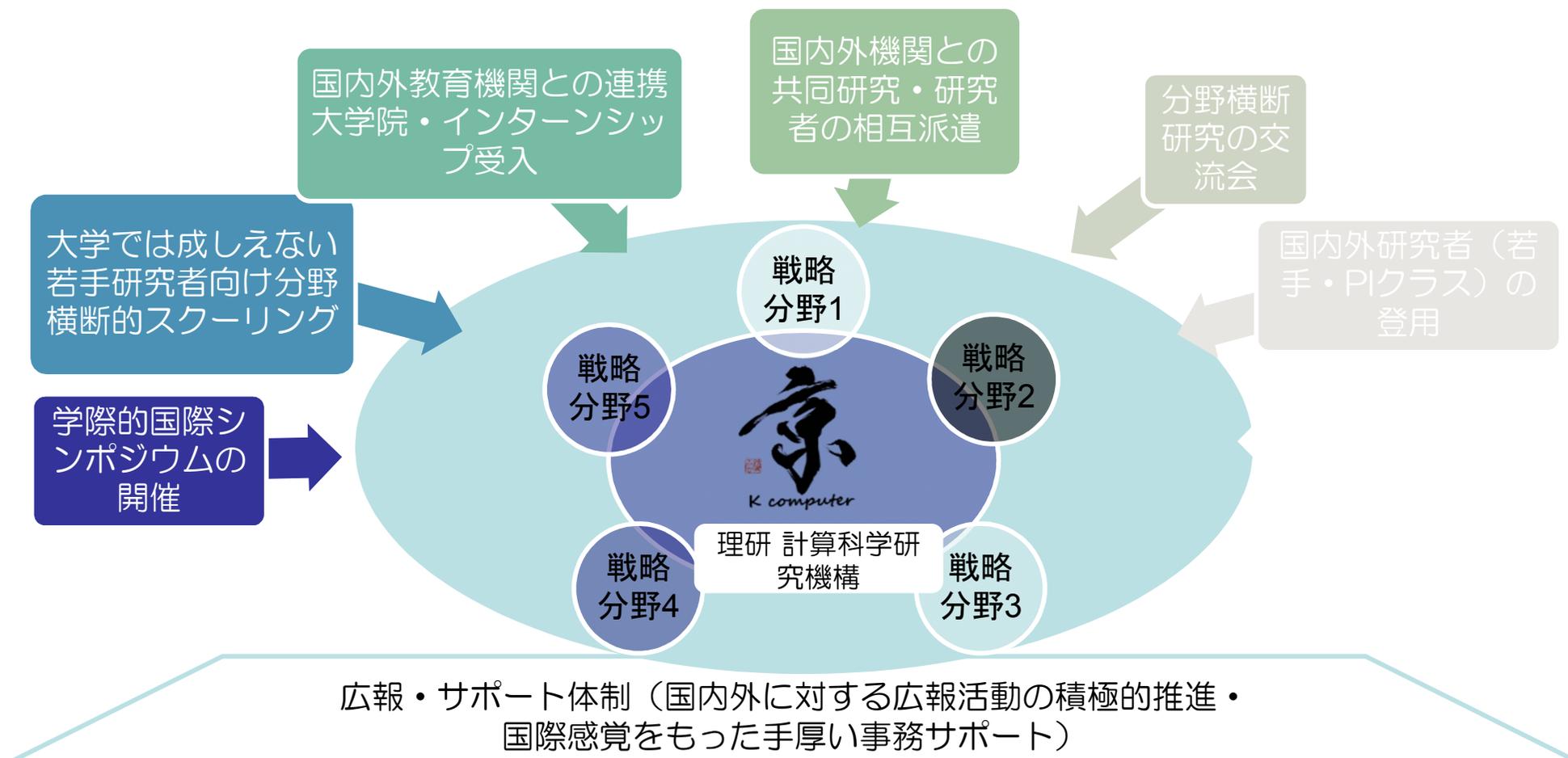


參考資料

AICS(理化学研究所計算科学研究機構) における国内外連携状況について

- 「京」を中核として、その活用により、計算科学の拠点形成を図ることとし、戦略機関等との連携により、計算機科学と計算科学の間や複数の計算科学分野間の融合による学際的分野の創出、重要分野や課題における最先端の研究成果の創出を目指す。
- 具体的には、重要研究テーマを設定し国内外の優秀な人材の登用・活用による研究の推進、国際的な共同研究や国際的なシンポジウム等による研究者交流、将来の計算科学を担う若手人材の育成・輩出など、多種多様な手法を用いて、頭脳循環に取り組む。



国際連携活動実績

- 研究協力協定等に基づく研究協力、研究者交流等(海外機関 4件)
 - 米: National Center for Supercomputing Applications(NCSA)
 - 豪: Australian National University National Computational Infrastructure (ANU/NCI)
 - 英: Fujitsu Laboratories of Europe
 - 伊: International School for Advanced Studies(SISSA)
- 合同研究会の開催等
 - International Exascale Software Project (IESP) (2012年4月)
 - International Meeting on High-Performance Computing for Computational Science(VECPAR) (2012年7月)
 - AICS国際シンポジウム(2011年3月、2012年3月、2013年2月)
 - International Summer School on HPC Challenges in Computational Sciences(2013年6月 in ニューヨーク) 等
- その他
 - JST-ANR日仏戦略的国際共同研究プログラム、JSPS多国間国際研究協力事業への参加
 - エクサスケールコンピューティングシステムにおける超並列・超大規模システムソフトウェアに関する相互連携を推進する、日米欧の研究プロジェクトに参加 等

